

中部防災ニュース 平成29年 11月号

発行
静岡県中部危機管理局
電話 (054) 644-9104
メール chuubou@pref.shizuoka.lg.jp

延焼火災から身を守る！

冬に近づくと火を使う機会が増えます。また、空気が乾燥し、強い風が吹くなど、火災が起きやすい気候となります。昨年、新潟県糸魚川市で起きた大規模火災は、古い木造建築物の密集地域に、不運な気象条件が重なって延焼が拡大しました。延焼火災から身を守るにはどうしたらいいのでしょうか。



「糸魚川市駅北大火記録」
(糸魚川市消防本部作成) から転載

調べられるよ！身の回りの延焼危険度

県では、WEB サイト「静岡県 GIS」で地域の延焼危険度*を公表しています。簡単に調べられるので、御自宅や学校・職場の周辺の危険度を把握しておきましょう。

※「延焼危険度」は、大地震を原因として延焼が拡大することを想定したものです。



①検索サイトで「静岡県 GIS」と検索し、表示された「静岡県地理情報システム」にアクセスします。

②ここをクリックして地図を「第3次地震被害想定」-「延焼危険度」を切替えます。

③地図を動かして、見たい地域を表示します。上の検索枠に住所を入力することもできます。

延焼危険度を5段階の色別に表示されています。

延焼危険度	
ランク1(延焼拡大する危険性はほとんどない)	青
ランク2(延焼拡大する危険性は低い)	緑
ランク3(延焼拡大しても早期に焼け止まる)	黄
ランク4(延焼拡大しても地域内で焼け止まり)	橙
ランク5(地域のほぼ全域が焼失する危険性が)	赤

! 延焼危険度はあくまで目安です。火災の規模や気象条件により危険性が高くなります。

ここがポイント！初動対応！

①周囲に知らせる。「火事だ〜」119番への通報

- 近くに人がいれば、通報と初期消火等の役割を分担して行動。
- 119番に通報したら、まずは「火事です。」とはっきり伝える。その後、住所、現場近くの目標物、燃えている箇所、名前、電話番号、避難の状況等を伝える。

②できるだけ初期消火に努める。

- 消火器や消火栓設備等を落ち着いて操作し、初期消火を開始。
- 火が自分の目の高さ到達するまでが、初期消火できる目安。それ以上の高さになったらすぐ避難！

③火が消せないようなら避難！

- できるだけ煙を吸い込まない。
- 火災の規模や風向きに応じて適切な場所に避難。

いざという時のために…

- 消火器や消火栓設備の使い方を理解し、訓練しておく。
- 火災の規模や風向きに対応できるように、複数の避難場所や避難経路を把握しておく。





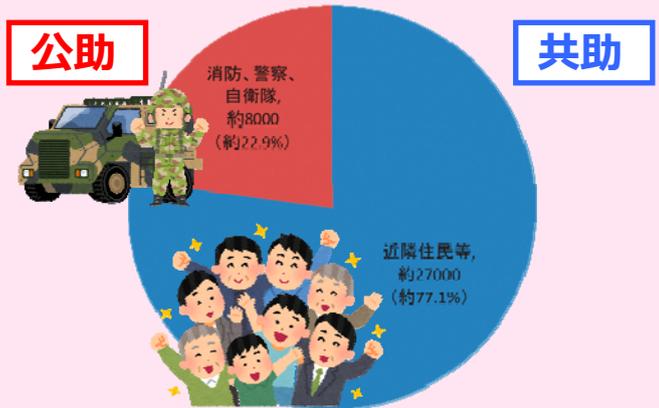
防災はてな？「共助はどうして重要？」

防災の基本理念には「自助・共助・公助」がありますが、自衛隊等の「公助」の力には限界があります。限られた力を有効に生かすには、共助の力を発揮することが大切です。

阪神・淡路大震災では、救助された人のうち、自衛隊や消防・警察（公助）により救出されたのは約2割で、**約8割の人は家族や近隣住民（共助）により救助されました。**

自衛隊等は災害時に大きな力を発揮しますが、やはり限度があり、大災害になるほど、すべての被災現場に駆けつけることは困難です。

自主防災組織や職場、ご近所どうしの助け合い（共助）が、人命救助の大きな力となります。



阪神・淡路大震災における救助の主体と救助者数
内閣府 HP より 引用

12月3日(日)の地域防災訓練に参加しよう！

12月3日(日)は地域防災の日です。**各地域で行われる防災訓練に積極的に参加し、地域みんなで共助の力を高めましょう。** ※各地域防災訓練については、地元自治会や市町へお問い合わせください。



ご近所で炊き出しの訓練

みんなで歩いて避難訓練

みんなで救護の手順を学ぶ

避難所生活を体験してみる

内閣府「減災のてびき」より 引用

キッキーの 教えて危機管理講座 感染症予防編

これからノロウイルスやインフルエンザウイルスの感染症が、はやりははじめます。帰宅時や調理の前後、食事前などこまめに手を洗いましょう。今回は、正しい手洗いについて紹介します。

- 流水でよく手をぬらしたあと、石けんをつけ、手のひらをよくこすります。
- 手の甲をのばすようにこすります。
- 指先・爪の間を念入りにこすります。
- 指の間を洗います。
- 親指と手のひらをねじり洗います。
- 手首も忘れずに洗います。

なぜ手洗いが大切なの？

ウイルスは、ドアノブや電気のスイッチなど、不特定多数の人が触れるところに多く付着するため、そこに触れることにより自分の手にも付着します。手にウイルスがついたまま食事をしたりすると、体内に入って感染してしまうことがあります。感染を防ぐためには、こまめな手洗いが大切なのです。

